



ファッション

時代を着る展

A VISION OF FASHION

from the early 20th century to the present day



2011.6.25(土)→9.4(日)

10:00-20:00 (展覧会入場は19:30まで)

休館日：火曜日

観覧料：一般1000(800)円、高・大学生500(400)円、小・中学生300(200)円

熊本市・福岡市・鹿児島市内小・中学生は無料(要名札)

※()は前売り、20名以上の団体、身体障害者手帳等をお持ちの方、熊本市・福岡市・鹿児島市民で65才以上の方。

※ゆかた祭り開催日(7月16・17日)は浴衣着用者は観覧料半額

主催：熊本市、熊本市美術文化振興財団、公益財団法人京都服飾文化研究財団、熊本日日新聞社、熊本放送

助成：公益財団法人朝日新聞文化財団

後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、

NHK熊本放送局、JCN熊本、熊本国際観光コンベンション協会、エフエム熊本、FM791

協力：(株)ワコール、ヒロ・デザイン専門学校

熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市上通町2-3 びふれす熊日会館3階

Contemporary Art Museum, Kumamoto -CAMK-

tel:096-278-7500 fax:096-359-7892 <http://www.camk.or.jp>

2-3 Kamitori-cho, Kumamoto, 860-0845 Japan TEL: +81-96-278-7500 FAX: +81-96-359-7892

左より：イヴニング・ドレス ウォルト 1900年頃 / ドレス イヴ・サンローラン 1967年春夏 / ドレス ジュンヤ・ワタナベ 2000年秋冬
下段「食べる靴」トキオ・クマガイ 1984年頃 熊谷登喜夫氏寄贈 / すべて京都服飾文化研究財団蔵、畠山崇撮影、ただし下段は林雅之撮影

ファッション 時代を着る展

A VISION OF FASHION

from the early 20th century to the present day

「ファッションー時代を着る」展は、京都服飾文化研究財団(KCI)との共催事業として同財団の全面的な協力を得ることにより、その世界に誇る貴重なコレクションの中から、ドレスをはじめコルセット、靴など約100点を厳選し、20世紀初頭から現代におけるファッション史を通覧するものです。

19世紀末ヨーロッパを代表するメゾンであったウォルトにはじまり、シャネル、クリスチャン・ディオール、イヴ・サンローラン、ピエール・カルダンなど、現代にも脈々と受け継がれる^{けんらん}絢爛たるファッションの文化がパリで花咲きました。また、19世紀末から20世紀初め、西洋は日本文化に新しいイメージ・ソースを求め、ジャポニズムが広がります。それはファッションにも影響が及びました。20世紀末、日本からイッセイ・ミヤケ、ヨウジ・ヤマモト、コム・デ・ギャルソンらが世界の注目を集めます。そして、新世代のフセイン・チャラヤンから、今後活躍が期待される気鋭の日本の若手デザイナーまで、本展は、いわばファッションの「王道」を過去から未来へとたどる展覧会となっています。

- 1.イヴニング・ドレス ピエール・バルマン 1956年春夏 撮影：畠山崇
 - 2.「スーパー・ドレス」 アメリカ 1966年頃 撮影：畠山崇
 - 3.ドレス パコ・ラバンヌ 1969年春夏 撮影：広川泰士
 - 4.コルセット(後側) アメリカ 1880年代後半 撮影：畠山崇
- すべて京都服飾文化研究財団蔵



1

【主な出品レーベル/作家】(五十音順)

アズティン・アライア、イッセイ・ミヤケ、イヴ・サンローラン、ヴィヴィアン・ウエストウッド、ウォルト、クリスチャン・ディオール、クレージュ、クロエ、グッチ、コム・デ・ギャルソン(川久保玲)、シャネル、ジャック・ファット、ジャン＝ポール・ゴルチエ、ジャンヌ・ランヴァン、ジュンヤ・ワタナベ、ジョルジオ・アルマーニ、ジバンシィ、スカパレリ、セディショナリーズ、ソニア・リキエル、ダニエル・エシュテル、ディエリ・ミュグレー、トキオ・クマガイ、ドロテビス、パコ・ラバンヌ、バルマン、ピエール・カルダン、ピバ、ピュロ、フセイン・チャラヤン、ブラダ、ポール・ポワレ、まふ(堀畑裕之、関口真希子)、マドレーヌ・ヴィオネ、マリア・モナチ・ガレンガ、マリアノ・フォルチュニ、モリヌー、ミキオ・サカベ(坂部三樹郎、シュエ・ジェンファン)、ミントデザインズ(勝井北斗、八木奈央)、ヨウジ・ヤマモト、ルイ・ヴィトン、ルディ・ガーンライヒ、ロメオ・ジリ



2



3



4

会期中のイベント

- ◆**深井晃子(KCIチーフ・キュレーター)講演会**
6月25日(土) 14:00~15:30 ホームギャラリー 入場無料
- ◆**CAMKレクチャー・カレッジ**
7月3日(日) 14:00~15:30 ホームギャラリー 入場無料
「イギリス美術とファッション」 桜井 武(当館館長)
- ◆**特集展示「matohu 慶長の美」**
6月25日(土)~9月4日(日) 井手宣通記念室 入場無料
matohu(まふ/堀畑裕之、関口真希子)による長着(ながぎ)を中心にしたミニ展示。
- ◆**matohuアーティストトーク「めざせ! デザイナー」**
8月6日(土) 14:00~15:30 ホームギャラリー 入場無料
ファッション・デザインに関心のある、若い人たちにむけたトークを行います。
- ◆**ワークショップ「紙の服を作ろう」**
7月30日(土) 13:00~16:00 対象:小学3~4年生 定員:15名(要事前申し込み)
料金:500円 展覧会を見た後にデザイン画を制作し、実際に紙(不織布)で服を作ります。
- ◆**ヒロ・デザイン専門学校ファッション・ショー**
7月31日(日) 14:00~14:30 ホームギャラリー 入場無料
- ◆**第12回お話し玉手箱LIVE** 季節にちなんだ文学作品の朗読会
7月16日(土) 14:00~14:45 ホームギャラリー 入場無料
朗読:本田史郎・福島絵美(RKKアナウンサー) 演出:夏目漱石「夢十夜」、芥川龍之介「舞踏会」ほか
- ◆**詩の朗読会** 18:00~18:55 ホームギャラリー 入場無料
7月28日(木) テーマ「20世紀のファッション」/8月25日(木) テーマ「帽子」
自作の詩の朗読会で、飛び入り参加も自由です。詩作にご興味のある方、ぜひ参加ください。
- ◆**CAMK読みがたり** 11:30~12:00 キッズサロン 入場無料
美術館ボランティアによる絵本や紙芝居の読みがたりです。親子でお楽しみください。
7月16日(土)「夏の日」/8月20日(土)「おぼけがきた!」
- ◆**月曜ロードショー** アートロフト、入場無料 14:00~、18:00~の2回上映。
6月27日「エマ」1996年 イギリス映画 95分
7月4日「ダメ男の愛し方」2006年 韓国映画 95分
7月11日「ブッチャーニ 歌劇《トスカ》映画版」2001年 フランス、ドイツ、イギリス、イタリア映画 120分
7月18日「夏時間の庭」2008年 フランス映画 112分
7月25日「ブレッド&ローズ」2000年 イギリス、ドイツ、スペイン映画 110分
8月1日「王妃の紋章」2007年 中国映画 114分
8月8日「世界はときどき美しい」2007年 日本映画 70分 *日本語字幕つき
8月15日「太平洋航空作戦」1951年 アメリカ映画 102分
8月22日「ミルコのひかり」2005年 イタリア映画 101分
8月29日「ライブラリアン ユダの聖杯伝説」2008年 アメリカ映画 90分

CAMK

- ◆**ミュージック・ウェーブ** ホームギャラリー 入場無料
7月23日(土) 16:00~ STREET ART-PLEX KUMAMOTO JAZZ OPEN 2011
- ◆**フレマ&ファミリー・ツアー** 8月6日(土) 10:30~11:30 展覧会場内
0~6歳の子供と大人の組み合わせ、また妊娠中の方と家族や友人の皆さんと一緒に展覧会を楽しみましょう。大人は展覧会チケットが必要です。定員7組(要事前申し込み)
- ◆**CAMK人形劇** 8月27日(土) 14:00~15:00 ホームギャラリー 入場無料
劇団ぱれっとによる楽しい人形劇「したきりすずめ」です。
- ◆**ホームギャラリー・コンサート**
毎日19:00~19:30 ピアノボランティアによる演奏
- ◆**ギャラリー・トーク** 展覧会の解説案内をいたします。
会期中の土日祝の15:00~15:30 展覧会場内 (要展覧会観覧券)
※講演会・ワークショップ等開催日は実施しません。詳しくはお問い合わせください。



熊本市現代美術館 Contemporary Art Museum, Kumamoto - CAMK-
〒860-0845 熊本市上通町2-3 びぶれす熊日会館3階
tel:096-278-7500 fax:096-359-7892 http://www.camk.or.jp